

ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは・・・

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

つながる 伝える そして広がる

私たちを支えていただいている参加企業のトップインタビューと、東京で企業のダイバーシティを支援するNPO法人 J-win と連携して、ふくい女性ネットが企画・運営したふくい女性ネットフォーラムを中心にレポートします。

ふくい女性ネット参加企業 トップインタビュー

参加企業のトップの方々へ、女性ネットのメンバーがインタビューを行いました。

①所在地 ②業種 ③従業員数

- Q1. 今後生き抜くために御社が一番注力していることは何でしょうか。
Q2. 企業の人事戦略として、女性の登用をどのようにお考えですか。
Q3. 今の女性社員、これからの女性に期待することは何でしょうか。

株式会社アイル 代表取締役 市橋 加奈子 さん



①福井市花堂中2丁目27-1 TKビル1F ②人材派遣・人材紹介業 ③7名（うち男性1名）

- Q1. 労働市場の変化を予測し、時代にあった人材サービスを提案していくこと、人材の適切なスキルや能力を見い出して提供していくことです。
Q2. 私どもは、性別で仕事を分けておりませんが、人材ビジネスにおいては、女性の持つ気遣いやきめ細やかさなどで、企業やスタッフとの信頼をより深めることができます。
Q3. これからの社会は性別に関係なく、仕事のポジション・役割に合った人を配置するという方向になっており、女性が活躍できる場はますます広がっていきます。チャンスを活かして更なるキャリアアップを期待しています。

株式会社三星 代表取締役 灰谷 佳洋 さん

①坂井市春江町江留中39-4-1 ②段ボール事業・一般労働者派遣事業
③36名(男性24名 女性12名)

- Q1. <不易流行>根底にある理念「強く必要とされる」は変えません。そこを起点に当たり前のことを徹底してやりぬく思想を貫いていきます。一方、自社の強みを強化し、お客様が満足するビジネスモデルを常に再構築していくこと、この両輪が生き抜き勝ち残る方策です。
Q2. 男性女性という区別は意味がありません。仕事ができる人は男女区別なく役割を担ってほしい。
Q3. 当社の女性社員はまじめで勤勉です。自分を成長させようとする意欲をとっても強く感じます。

一方、理想に走りすぎマクロ的な見方や計数に弱く、自分の理想とするところを商売にする力がいまひとつのように感じます。他者と連携し、他者を思いやりながら成果をあげていくことを期待します。



日時：平成 21 年 11 月 20 日（金）13:30 ～

場所：ユー・アイふくい

☆☆☆ J-Win・ふくい女性ネット連携フォーラム 2009 ☆☆☆

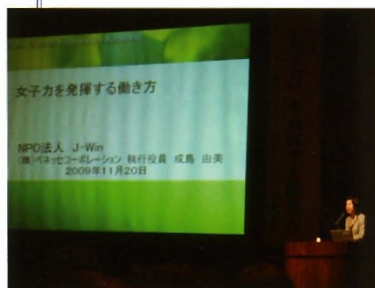
～「女子力」を発揮する働き方～

11月20日に、J-Win からゲストの女性管理職の方4名にお越しいただき、講演会とトークショー、交流会が行われました。

1. 講演 「女子力を発揮する働き方」

講師 NPO 法人 J-Win 幹事長 成島 由美さん

(株式会社ベネッセコーポレーション 執行役員 マーケティング・営業本部グループマーケティング支援担当)



「女子力」をキーワードに、成島さんの実体験を基に講演をしていただきました。その中で、印象的だったのが、「AND」「ながら」「兼」「組み合わせ」が女子力というお話でした。女性はその場の環境に順応する力に優れており、器用に複数の課題をこなしていくことが可能です。

「器用に複数のタスクを計画通り進める力がある」「段取りがいい」「組み合わせて新しいものを発想する力がある」「遂行する力がある」「コミュニティを作り活用する力がある」といったお話を聞かせていただきました。自分の身の回りの出来事や、働く女性社員を見てみると、そういえば・・・と思いついた節がある方も多かったようです。(担当：石黒)

2. トークショー

コーディネーター 成島由美さん

出演者 NPO 法人 J-Win 幹事

緒方真樹子さん ((株)リクルート 広報部社外広報グループ ゼネラルマネージャー)

小松由佳さん (キャタピラー・ジャパン(株) レンタル・中古車部 レンタル教育課長)

渡邊順子さん (NTTコムウェア(株) 総務人事部 HCM センタ 担当課長)



トークショーでは、女性管理職として活躍されている3名が加わり、プライベートの話題も



交えながらの話をさせていただきました。子育てをしながらの仕事、夫婦がお互いに仕事をしながらの家庭生活について、また、男性社会で働くということについての意識や、周囲の反響についてなど、様々なことが話題にあがりました。ロールモデルとしての話には、“こうりたいな”と、意欲を持てる話が聞け、仕事に対する気持ちが前向きに、また、管理職も悪くないと思われた方もいたのではないのでしょうか。(担当：石黒)



3. 交流会

J-Win の各メンバーと参加者が4つのグループに分かれ同じ目線で交流をしました。

日頃、管理職の方々と同じ目線で話す機会がなかなかもない中で、女性限定ではありましたが、働く女性のモデルとなる方たちのお話を聞くことができ、貴重な体験をすることができました。その中で、悩みや相談は尽きず、後半は時間が足りなくなってしまうグループも出てくるほどの盛り上がりを見せました。(担当：石黒)



ふくい女性ネット(第2期)参加企業

(株)アイティー広告

(株)アイル

(株)ウララ コミュニケーションズ

(株)エイチアンドエフ

(株)黒川クリーニング社

4. インタビュー

フォーラム終了後、情報発信部は J-Win のメンバー取材しました。お一人ずつふくい女性ネットへの心強いエールをいただき、また雑談の中から、今抱えている仕事の悩みについてもアドバイスをいただくことができました。



Q. 仕事のスランプをどう乗り越えたらよいか。

A. 長く働く上で常にフルスロットルではられません。誰も公的な顔と私的な役割をもっているので、ライフスタイルに応じて時にはペースを落とすことも必要。ペースを落とすことが必ずしも負けとは限りません。充電期間が必要な時もあるので、今の自分の状態をきちんと上司に伝えることが大事で、その時は上司も待つということが必要です。周りに気を使って一人で抱えこんでしまうのは一番ダメで、かえって迷惑がかかる場合もあります。待ってもらった時は、その分を後にきちんとして返すという気持ちが大事です。できない自分に向き合えることも成長の一途です。

Q. 自分のキャパを超えていると判断するラインは？

A. 頑張ってると思うレベルを、上司と擦りあわせすることが大事です。女性は周りを巻き込むことが苦手。どうやったらできるかを工夫し、時には周りをお願いをすることも必要です。

などなど、どれも管理職の対場に立っておられるからこそ適切な・適格で、心にひびくアドバイスをいただきました。最後に何よりも、「人と比較しないこと。昨日の自分より今日の自分と少しずつ進歩していることを認めてあげる。自分で自分を絶対評価してあげる。自分で自分をほめてあげることが大事。」と、とても勇気の出るお言葉をいただき、全員笑顔でインタビューを終えました。

ふくい女性ネットに対して以下のようなエールをいただきましたので紹介させていただきます。

■ 渡邊順子 さん

企業の中で一人ひとり小さくても、このようなネットワークがあれば強くなれます。様々な場面において、自分が納得できる選択をしていくこと、それが幸せなキャリアを築くことになると思います。皆さん、頑張ってください。



■ 小松由佳 さん

今回、企業力を強めるための女性の力は強いということを再認識しました。福井は向上心のある方が多く、さらに自治体がバックアップしている体制があり、こんな良い環境はないと思います。大いに活用して福井発で全国に発信していきましょう。

■ 緒方真樹子 さん

「県がバックアップしながら女性を応援しているんだよ。」と福井のことを J-Win の集まりや、国などのキーマンにどんどん伝えていきたい。地方のネットと中央のネット、この二つがコネクしてさらに拡大していけるといいなと思いました。今回は福井の方の純粋で前向きな姿に刺激を受けました。是非、今後さらに拡大したネットワークをつくるということで一緒にやっていきましょう。

■ 成島由美 さん

地方発のロールモデルを是非福井で作ってください。

中央（東京）発でなく、地方でしか根付かない地方らしいキャリアの積み方があると今回感じました。幸せな女性の働き方を、納得いく価値観の中で自分たちで生み出してほしいと思います。女性の就労率 No.1 の実績はすでにあるのだから、今後は、量的でなく質的にキャリアを積んでいくことが大事。福井に習えというモデル作りを目指してください。



(左から渡邊さん、小松さん、緒方さん、成島さん)

サイオーベックス(株)
第一織物(株)

坂井市
第一警備保障(株)

(株)ジャムジャム
トヨタカラー福井(株)

(株)シャルマン
(株)ナカテック

新道繊維工業(株)
日本システムバンク(株)

日時：平成 21 年 9 月 18 日 (金) 14:30 ～

場所：ユー・アイふくい 学習室 B1

ふくい女性ネット「職種別」交流会

日ごろ、他の企業の同じ職種の方と交流する機会はあまりないものです。そこで、ふくい女性ネットのメンバー同士で、職種ごとにグループをつくり、初めての職種別交流会を行いました。



総務職・営業職・技術職など職種別に分かれ、同じ職種ならではの悩みや、企業ごとに違う企業文化などについて情報交換を行いました。約 1 時間ほどでしたが、仕事だけでなくプライベートなことまで、課題や悩みなどたくさん共通点があることが分かりました。

交流会の中で、企業により、女性の活用法にも大きな違いがあることが発見でき、自社でも取り入れていける活動のモデルを知る機会にもなり、とても新鮮でメンバー全員が、満足のいく交流会となりました。(担当：石津 / 石黒)

キャリア・アカデミー公開講座 1

日時：平成 21 年 10 月 18 日 (日) 13:30 ～

場所：ユー・アイふくい

辰巳渚さん (生活哲学者・消費行動研究者・家事塾主宰) 講演会

「自分の道を切り拓く～暮らしを見直すことは生き方を見直すこと～」

働く女性のキャリアアップのためのキャリア・アカデミー公開講座で、辰巳渚さんを講師に迎え講演が行われました。著書『捨てる! 技術』に書かれているワークライフバランスについての考えや、それに大切なポイントについてご講演いただきました。女性が仕事と家庭のバランスのとれた生活を行うために必要な考え方などを知る機会となり、多くの公聴者で会場もぎわいました。(担当：石黒)



キャリア・アカデミー公開講座 2

日時：平成 21 年 11 月 1 日 (日) 13:30 ～

場所：ユー・アイふくい

福沢恵子さん (ジャーナリスト・日本女子大学客員教授) 講演会「会社でチャンスをつかむ本当のルール」

フリーランスのジャーナリストとして「女性と仕事」をテーマに執筆や講演をされている福沢恵子さんを講師に迎え、講演が行われました。仕事には見えざる(知らない)と損をする) ルールがあり、それらは明記されているとは限らず、状況に応じて変化するものなので、情報収集(人脈を活用)することが必要と話されていました。また、働く人に求められる能力として、問題発見・コミュニケーション・タイムマネジメント・人脈づくりを挙げ、人脈づくりのノウハウを伝授していただきました。なお、社外での活動も「人脈」に繋がるとのことでした。

< 交流会 >

キャリア・アカデミー受講者とふくい女性ネットメンバーが参加した交流会では、参加者全員が日頃の悩みなどについて福沢さんに相談。参加者からは「個別相談の際、福沢さんには的確かつ明解な回答をいただき、みんなの心の霧が晴れたようでした」などの感想も聞かれ、ふくい女性ネットの今後の活動アイデアもいただき、とても充実した交流となりました。(担当：増永)



福井キャノン事務機(株)

福井県

福井県商工会連合会

(財)福井県文化振興事業団

福井県民生協同組合

(株)福井コミュニティスポーツセンター

福井市

福井商工会議所

(株)福井新聞社

国立大学法人福井大学

福井経編興業(株)

フクビ化学工業(株)

福井新螺(株)

北陸電力(株)福井支店

益茂証券(株)

三谷商事(株)

(株)三星

(32社、50音順)

編集後記

今回お会いした方々も素敵な人ばかり。J-Winの4人の方は姉御的でカッコ良かったです。講演での「気負わず・自然体で」という気持ちで楽しく働いていきたいですね。(石津)

女性のエネルギーを感じずにはいられない方々との出会い。とても勉強になり、今後福井の働く女性に向けてのメッセージを受け取ったように感じました。(石黒)

お詫びと訂正

10月に発行した「ふくい女性ネット REPORT Vol.7」の「女性企業家から学ぼう」(2ページ)の中で、ヘアメイクプロパワリングスタジオ主宰 白本秀美様のお名前を誤って記載しましたので、お詫びして訂正します。